

神戸市感染症発生動向調査週報

平成31年1月23日 作成

神戸市感染症情報センター

報告定点数 48 ケ所 (内訳) 東灘6, 灘3, 中央3, 兵庫3,
設置定点数 48 ケ所 北8, 長田3, 須磨6, 垂水8, 西8

第 3週 平成31年1月14日 ~ 平成31年1月20日

インフルエンザ

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳	~19歳	~29歳	~39歳	~49歳	~59歳	~69歳	~79歳	80歳~
インフルエンザ	282	104	119	60	336	190	248	444	450	2,233	7	33	91	92	108	138	160	132	150	128	109	364	110	98	143	176	80	68	32	14

小児科

報告定点数 31 ケ所 (内訳) 東灘4, 灘2, 中央2, 兵庫2,
設置定点数 31 ケ所 北5, 長田2, 須磨4, 垂水5, 西5

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳	~19歳	20歳~							
RSウイルス感染症	2				1		1	4	4	12		3	3	3	3																
咽頭結膜熱	3						1			4		1	2					1													
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3				7		3	5	15	33			2	2	5	1	8	1	3	5	2	4									
感染性胃腸炎	11	5	12	5	30	9	24	51	18	165	2	7	30	11	22	16	6	7	11	6	4	15	6	22							
水痘	3		1		3		2	2	1	12			1	1	2		1	2	1	1		3									
手足口病	1				1		1		1	4			1	1	1	1															
伝染性紅斑	6	1	4		1	1	1		1	15			1	1	1	1	5	2	1	1		2									
突発性発疹						2	2	1	1	6		3	1	1																1	
ヘルパンギーナ										0																					
流行性耳下腺炎			1							1										1											

インフルエンザの定点あたり患者数は46.5人となり、警報レベル(30人以上)が続いています(先週:31.7人)。市内学校園の学級閉鎖や施設からの神戸モデル連絡票によるインフルエンザ患者の施設内での複数発生の報告も先週に引き続き増加しています。
また、全数報告では、インフルエンザウイルスを原因とする急性脳炎の届出が2例ありました。小児(特に乳幼児)では、重症化すると、インフルエンザ脳症と呼ばれる重症の急性脳炎を発症することがあります。呼びかけても反応しない、痙攣を起こすなど重症化のサインがあればすぐに医療機関を受診しましょう。

百日咳は、平成30年1月1日から全数報告となりました。医療機関で患者を診断した際には、届出基準に基づき、届出の提出をお願いいたします。

(インフルエンザ定点医療機関から報告された迅速キット陽性情報)

A 型	B 型	A型およびB型
1910	6	0

[耳より情報\(インフルエンザ\) 神戸市HP](#)

眼科

報告定点数 10 ケ所 (内訳) 東灘1, 灘1, 中央1, 兵庫1,
設置定点数 10 ケ所 北1, 長田1, 須磨1, 垂水1, 西2

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳	~19歳	~29歳	~39歳	~49歳	~59歳	~69歳	70歳~	
急性出血性結膜炎										0																				
流行性角結膜炎					1				1	2																	1	1		

【定点機関から報告されたその他の感染症情報】

東灘区○アデノウイルス感染症1例:0歳10か月 女
○ノロウイルス感染症1例:0歳7か月 女
垂水区○ノロウイルス感染症1例:2歳 男
○細菌性胃腸炎(カンピロバクター)2例:11歳 男、21歳 女

【基幹定点からの報告】

インフルエンザによる入院23例:0~4歳 3例、5~9歳 3例、10代 2例、20代 2例、30代 1例、50代 1例、60代 2例、70代 5例、80代 3例、90代 1例
(うち、インフルエンザA型5例、インフルエンザA型およびB型(混合感染)1例、型別不明17例)

【全国の感染症の状況】

○麻しん

三重県津市内において、昨年末にミロクコミュニティ救世神教が自施設で開催した研修会の参加者から、1名の麻しん患者が発生し、その後の確認により、同研修会の参加者等から三重県内で37名(1~4歳 1名、10代 23名、20代 9名、30代 3名、40代 1名)の麻しん患者が発生しています(1月23日時点)。なお、患者のワクチン接種歴の内訳は、ワクチン接種歴なしが24名、あり(1回)が7名、あり(2回)が1名、不明が5名です。麻しんは約10~12日の潜伏期間の後、発熱、発疹等の症状が現れます。麻しん患者と接触した可能性があり、接触後に麻しんを疑う症状が出現した際には、医療機関に事前連絡の上、公共交通機関の利用をなるべく避け、マスクを着用して受診しましょう。

[麻しん患者の発生について 三重県HP](#)

○風しん

全国で風しん患者発生の報告が続いています。平成30年第40週(10月1日~10月7日)から平成31年1月20日までに兵庫県では、45例、神戸市では、8例の報告(IgM抗体検査陽性による検査診断例および臨床診断例)がありました。予防接種歴がないもしくは1回の方や罹患歴のない方、抗体価が十分でない方は、予防接種を検討しましょう。

[風しんの発生状況 国立感染症研究所HP](#)

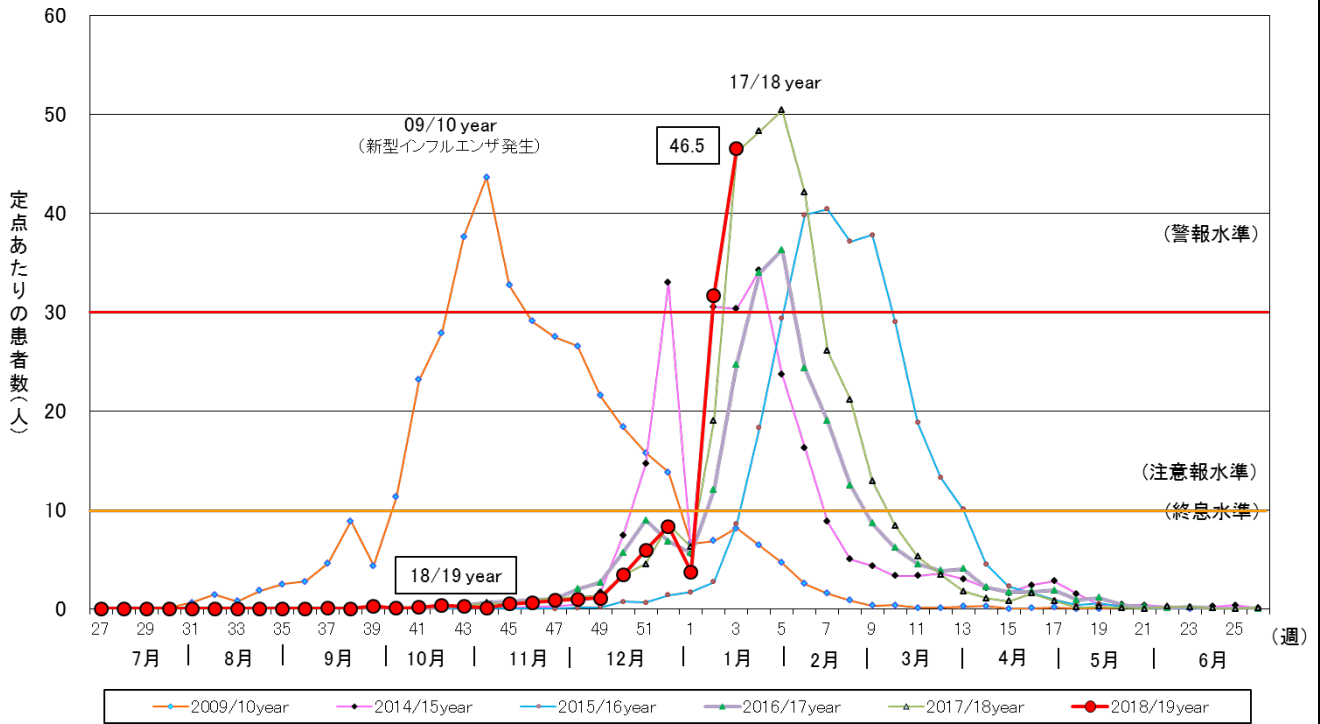
[風しん予防接種の助成について 神戸市HP](#)

【お知らせ】バックナンバーは神戸市のホームページからご覧いただけます。

[神戸市 発生動向【検索】](#)

[「IL情報センター」ホームページを開設しています。詳細はこちらをクリック](#)

定点あたりのインフルエンザ患者報告数

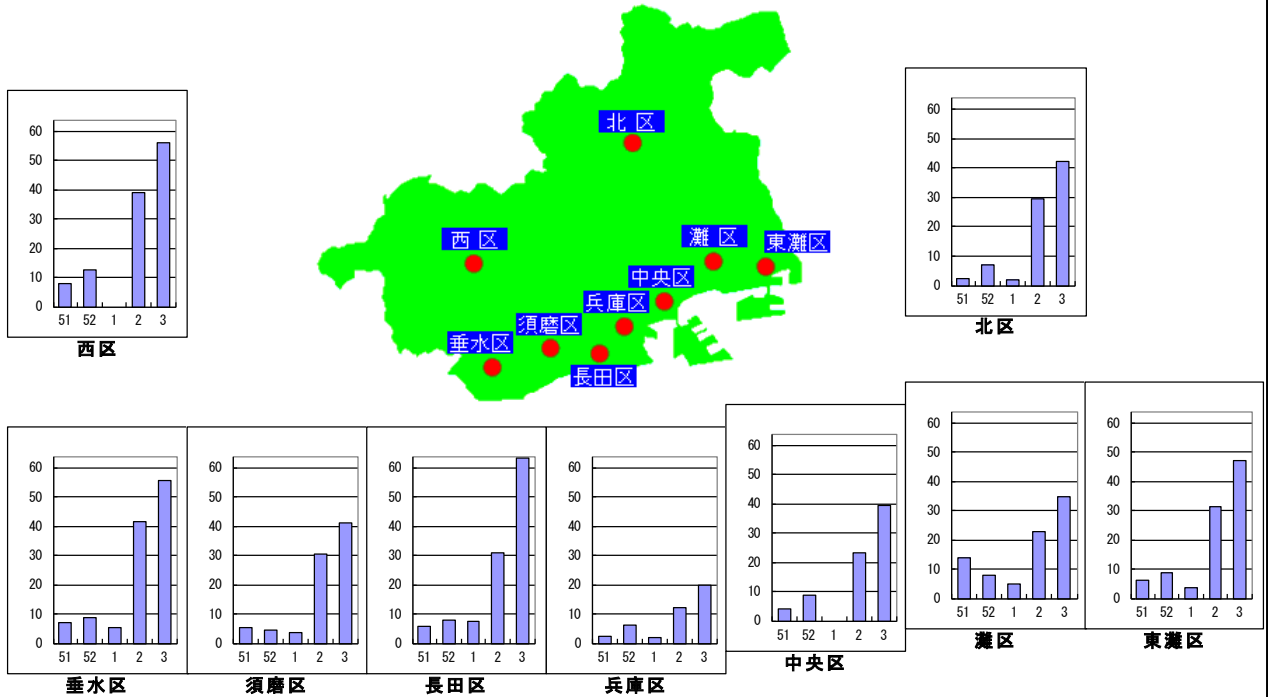


疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 51 週 平成30年12月17日

~ 第 3 週 平成31年1月20日

インフルエンザ



※ このマップは各区の定点報告医療機関の報告数を平均シグラフ化したものです。各区の定点医療機関数は区の人口に合わせて設定しています。すべての医療機関からの報告ではないため、区内の経時的な傾向を把握することはできませんが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。